

<<Web調査>> 1000人に聞いてみました 「コロナ禍で労働環境はどう変わった？」

調査の背景

新型コロナウイルス感染症の影響により、個人の雇用や労働環境に大きな影響が出ています。労働条件の変化や、これに伴う支援の状況やニーズについて現状を知るため、「働く(Work)みんなの連合サポートQ『愛称：Wor-Q』」と共同で1000人にアンケート調査を実施しました(2020年12月11日現在)。

■「働く(Work)みんなの連合サポートQ『愛称：Wor-Q』」とは

雇用と自営の中間的な働き方や、業務委託、請負、フリーランスなど、「あいまいな雇用」で働く人々が抱えている労働に関する困りごとや疑問を解決していくことを目指すサイトです。

調査結果サマリ

- 新型コロナウイルス感染症により、労働環境が悪化した人は46.5%、特に変化はないとした人が51.7%、好転した人が1.8%という結果となった。予測に反し、悪化した人が半数を切る結果となったが、コロナ禍では、オンラインに慣れている人の方が負の影響が少ない傾向があるため、Web調査という性質上、悪影響の割合が少なめに出たのではと考えられる。
- 労働条件が悪化したと回答した465人にその理由を聞いたところ、「時短営業や休業による経営難」が約3割、「賃金の引き下げ、リストラ、内定取り消し等」が約2割を占めた。また、「仕事の報酬や条件を巡る交渉」、「対象となる公的支援が少ない、もしくはない」もそれぞれ1割超の結果となっている。
- 労働環境の問題や悩みを相談する相手や場所としては、家族や友人との直接的な交流を挙げている人が41%と突出して多く、職場・行政の相談窓口や労働組合、オンラインを介しての相談等は1~2%程度と非常に低く留まった。
- 労働問題や悩みについて情報交換や相談のできる場としてどんなものがあると良いかという問いに関し、「特に必要ない」と回答した人を除いては、「同業者や同じ悩みを抱える人々との情報交換やネットワーキングの場」が最多で23.4%、「公的支援や行政手続きに関する情報交換の場」が二番目で15.9%、その他の項目は10%以下という結果であった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で受取った給付金・助成金に係る確定申告や決算等の対応において、難しさや不安を抱いている人は6割弱であった。普段、確定申告をしている人のうち、6割以上は自ら紙の書類を作成するかe-taxを活用して提出しており、これはコロナ対応での確定申告に関しても同じ傾向が見られた。
- 現社会情勢の厳しさを踏まえ、税負担に関する考え方を聞いたところ、減らしてほしい人が7割を占め、国や地方自治体に政策をしっかりと実行してもらうために税負担は必要という考えを大きく上回った。

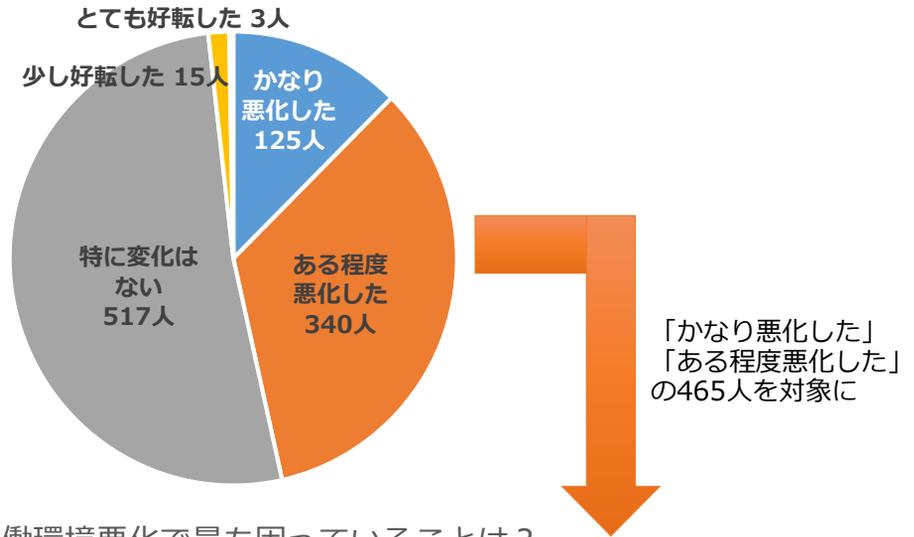
調査結果の詳細

以下の通りである。

アンケート回答者

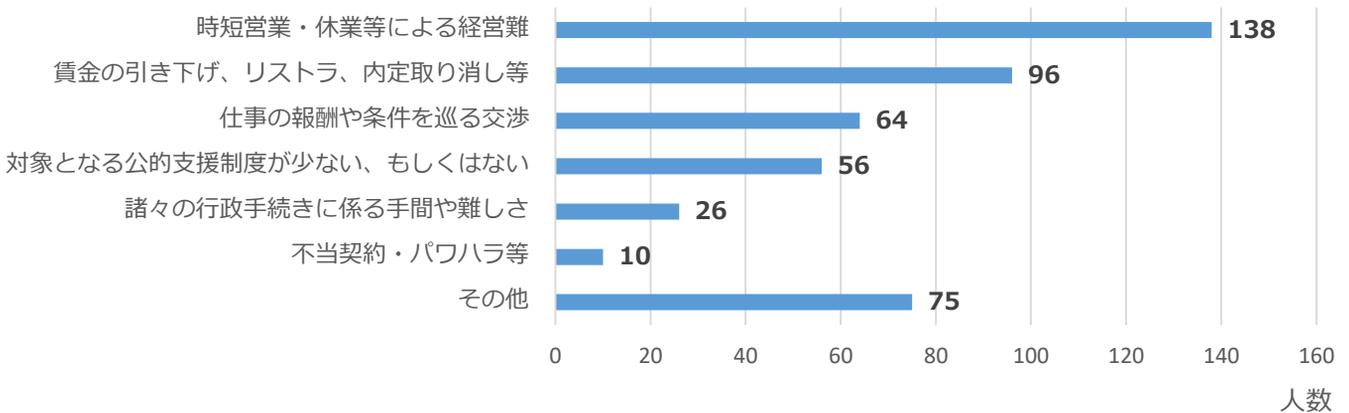
職 業	人数
正規雇用	490
非正規雇用	69
自営業	87
フリーランス	36
パート・アルバイト	125
学生	17
無職・専業主婦	176
	1000

新型コロナウイルス感染症の影響により、報酬や労働条件等、仕事をめぐる環境はどう変化した？



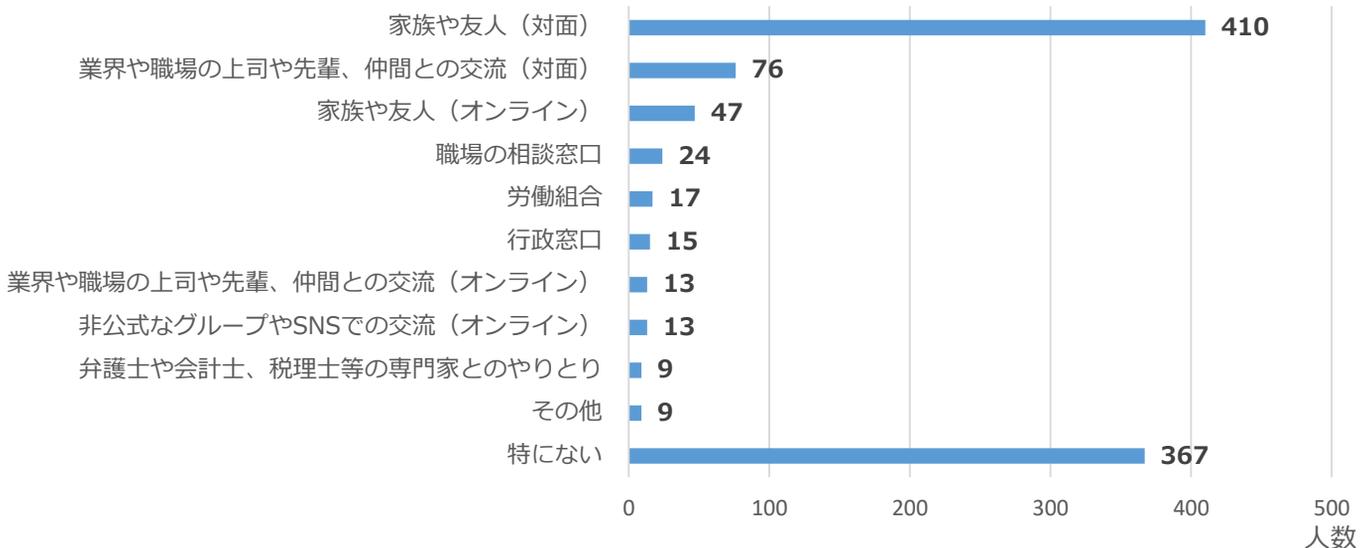
労働環境悪化で最も困っていることは？

回答者：465人

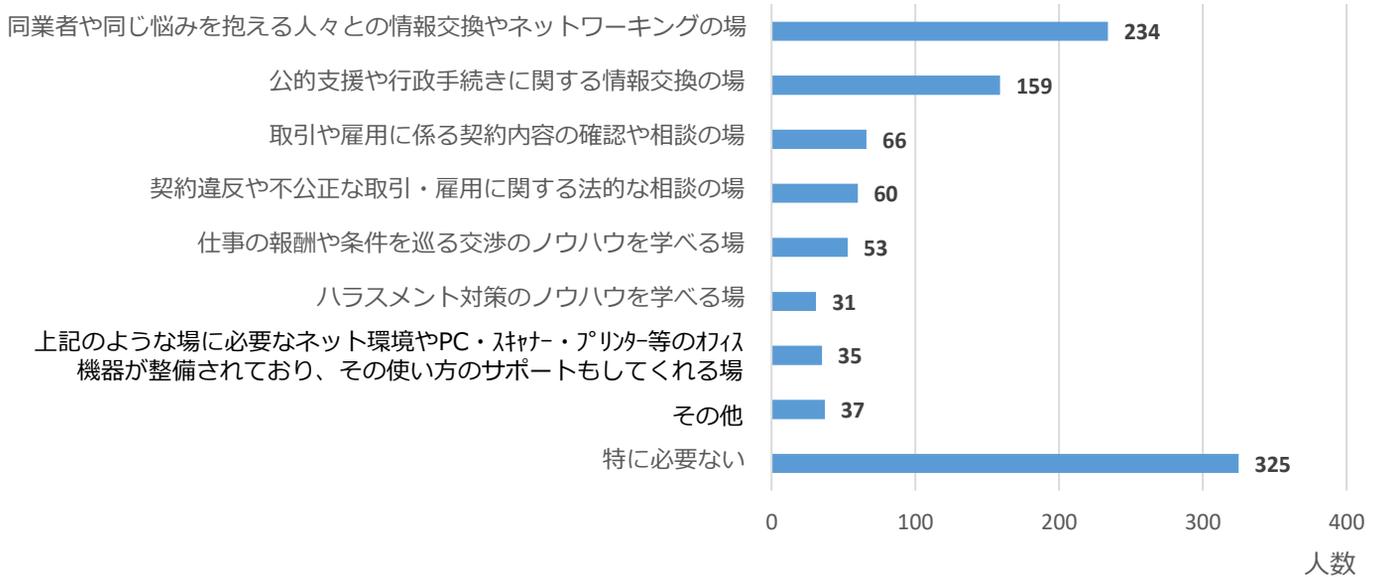


労働環境の問題や悩みについて相談できる人や場所はある？

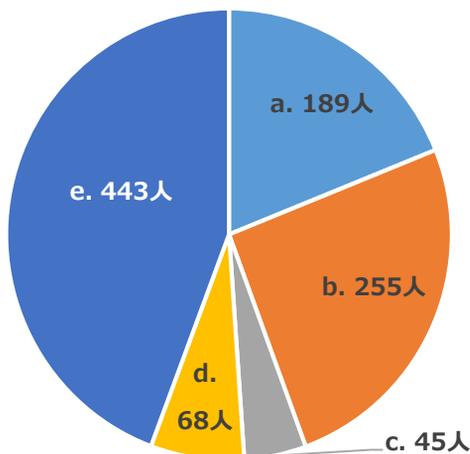
あるとすれば、どういう人や場所？



労働問題や悩みについて情報交換や相談のできる場として どんなものがあると良い？

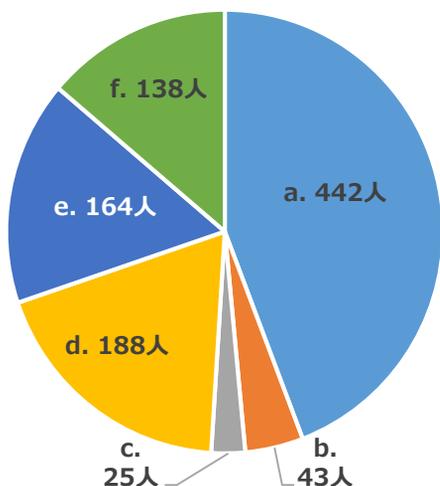


新型コロナウイルス感染症の影響で受取った給付金・助成金に係る確定申告や決算等の 対応につき、当てはまる回答を選んでください



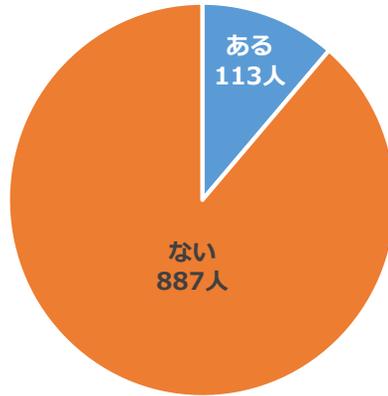
- a. 必要な情報や対策はわかっており、問題なく対応できると思う
- b. 必要な情報や対策がわからず、対応が難しそうだ
- c. 必要な情報や対策はわからないが、税理士や会計士等、専門家に任せるので問題は感じていない
- d. 必要な情報や対策がわからないので、税理士や会計士等の専門家や、専門の経理・税務サービスを利用したいと思っているが、探し方や費用面での心配・不安がある
- e. 該当なし（手続きの必要がない）

いままで確定申告をどのように行っていましたか？



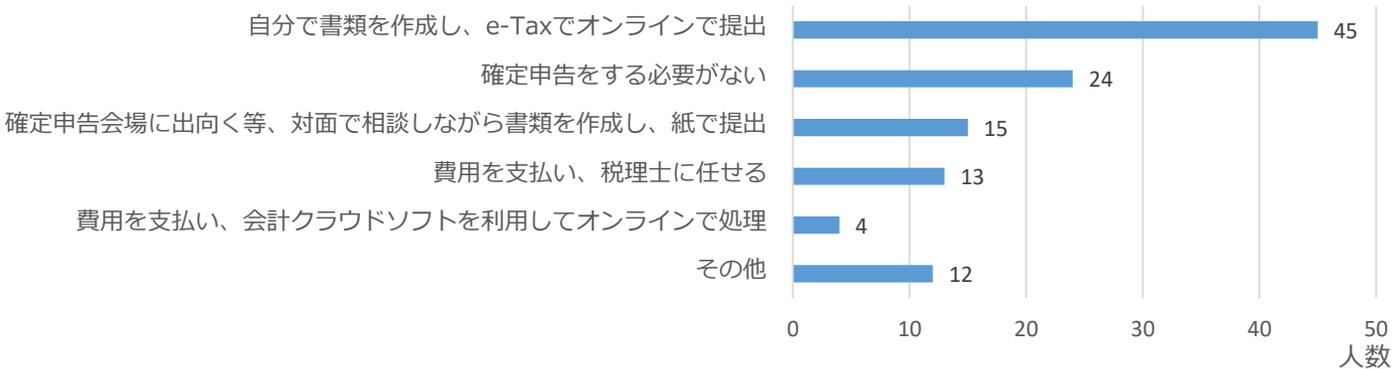
- a. 確定申告をする必要がなかった／確定申告をしていない
- b. 費用を支払い、税理士に任せていた
- c. 費用を支払い、会計ソフトを利用してオンラインで処理していた
- d. 確定申告会場に向く等、対面で相談しながら書類を作成し、紙で提出していた
- e. 自分で書類を作成し、e-Taxでオンラインで提出していた
- f. その他

今年度は確定申告の方法を変える 可能性がありますか？

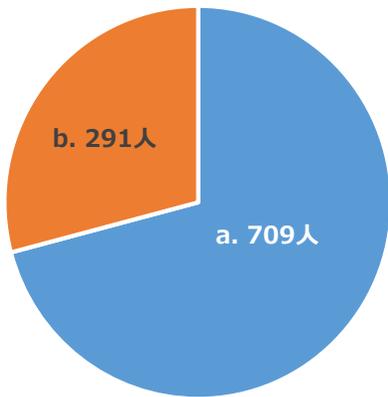


「ある」の113人を
対象に

今年度はどのように確定申告を行いますか 回答者数：113人



税金に対する考え方は、どちらに近い？



- a. 社会全体が大変な時期だから、税金は社会経済にとって負担が大きい。できるだけ減らしてほしい。
- b. 社会全体が大変な時期だから、必要な政策を国や地方自治体がしっかり実行していくためにも、税金は重要だ。

調査方法

インターネット上でのアンケート

※Yahoo!クラウドソーシング (<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>) を活用

調査期間

2020年12月14日 (月)

調査数

1,000人

注) 本調査は、Yahoo!クラウドソーシングサービスを活用し、属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。